

◆ 水難救助科 – 消防職員特別教育 –

静岡県は、長い海岸線(約 506km)を有し、河川や湖沼等の水辺環境も自然豊かであることから、東京を始め他県からの海や川のレジャー客も多く、全国的にみても水難事故の多発県となっております。(平成 25 年 71 件 1 位、平成 26 年 56 件 4 位、平成 27 年 66 件 3 位)

その特殊性もあり、本校では、毎年 7 月の下旬から 8 月上旬にかけて水難救助科を実施しています。訓練は海だけでなく川でも実施し、非常に厳しい訓練を修了の前日まで連日行います。この水難救助科の修了生等の活躍により、被災者の救助件数は常に全国上位です。

河川での救助訓練



ボートを使用した救助訓練



◆ 初任教育 7 月後半の訓練 --- 梅雨明け、夏に鍛える ---

初任科の 7 月後半の実技訓練は、梅雨明け後の高温多湿の厳しい条件の下、より実践的になりました。「救助訓練」ではロープ展張・各種渡過・腕力登はん訓練や水難救助のためのスキューバダイビング訓練などを、「消防活動訓練」ではホースカー、ホースバックによる展張からの的への放水などを、「消防活動応用訓練」では人命検索・救助訓練などを実施しました。

ホースカー、ホースバックによる展張からの的へ放水



防災ヘリコプター救助体験



スキューバダイビング(監視室から)



濃煙内人命検索訓練

